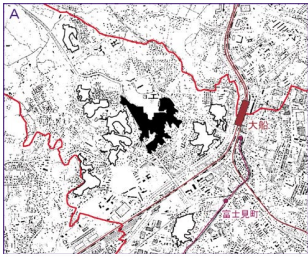


龍宝寺

- A 常緑広葉樹自然林
- E 常緑・落葉広葉樹混生二次林
- G 落葉広葉樹二次林
- I 林縁生低木-ツル植物
- J1 乾性草地
- L1 竹林
- L2 針葉樹植林
- L4 緑化地
- M 人工地



龍宝寺



キアシナガバチ

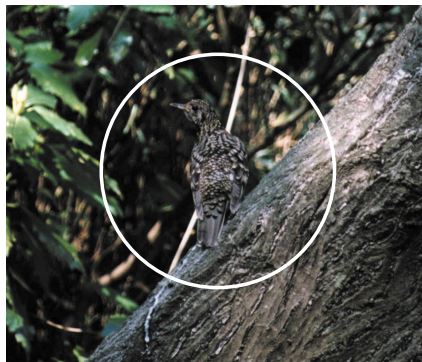


キセキレイ

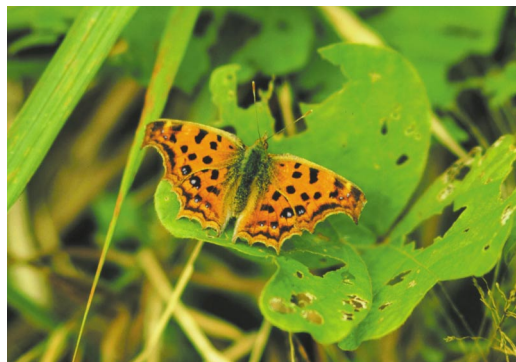


ヒノキ植林

林の中は暗く、林床にはテイカカズラのように日陰の場所でも生育できる植物が多いです。



トラツグミ



キタテハ



ミズキ群落

斜面中腹の二次林です。植生遷移が進んで、林の中にはタブノキ、アオキ、ヤブランなどの常緑植物が多くみられます。



スダジイ-コナラ群落

急斜面に形成された雑木林で、植生遷移が進み、林の中にはスダジイ、シロダモなどが生育しています。



オンパバッタ



台湾リスの巣

龍宝寺

調査確認種数

植物：62科129種

動物

哺乳類：ヒミズ、モグラ他 2科3種

鳥類：15科20種

昆虫類：66科151種

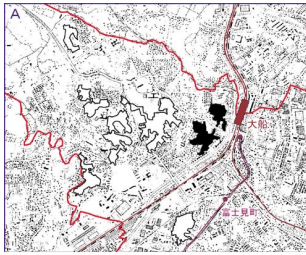
特記事項

龍宝寺は、寺の裏山に当たる部分で、比較的まとまりのある緑地となっています。平地部分は住宅地や神社仏閣が、尾根部分には学校が建設されており、複雑な形をした斜面林が帯状に伸びています。面積が大きい割に、種数はあまり多くありません。

しかし、岡本、観音山、城廻、玉縄城址公園、植木と隣接し、かつその中央に位置していて、各緑地をつなぐ位置にあるので重要です。これらの緑地は一体として扱い、その連続性に注意して保全することが重要で、特に龍宝寺はその中心として、また緑地同士をつなぐ回廊として保全していくと効果的です。

上： 岡本
下： 観音山

- A 常緑広葉樹自然林
- C 溪谷生落葉樹自然林
- G 落葉広葉樹二次林
- I 林縁生低木-ツル植物
- L1 竹林
- L2 針葉樹植林
- M 人工地



ヤブコウジ-スダジイ群集
尾根筋に生育している若い林で、多くの種類の樹木が、スダジイと混ざって林を形作っています。



アオゲラ



ハクビシン(外来種)

岡本

市立玉縄小学校

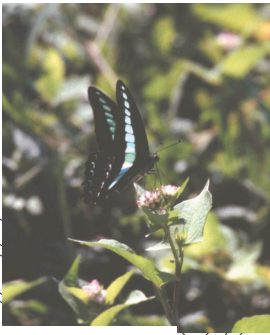
岡本郵便局



竹林
15m位の高さで密生しているモウソウチク林で、林床(地面)には日陰に強いジャノヒゲ、テイカカズラなどが散生しています。



オニシバリ-コナラ群集
林の高さが20mに及ぶ雑木林です。林内にはヒサカキ、スダジイなどの常緑広葉樹が多く、その他に、ウメドキ、ウグイスカグラ、コバノガマズミなどの夏緑低木が生育しています。



アオスジアゲハ



イロハモミジ-ケヤキ群集

一度伐採された後に育ってきたケヤキ林で、ムクノキ、シロダモ、イロハモミジなどの木も混ざって生育しています。

観音山



コムシジ



ヤブコウジ-スタジイ群集

大きなスタジイが優占する常緑広葉樹林です。昔は下草刈りなど人手が入っていたようで、林の中にはヤブツバキなどのスタジイ林構成種の常緑植物とともに、スギ、ヒノキ、イヌビワなども生育しています。



アカネズミ(麻酔で眠っている)

岡本

調査確認種数

植物：45科80種

動物

哺乳類：2科2種

鳥類：11科14種

昆虫類：35科80種

観音山

調査確認種数

植物：50科98種

動物

哺乳類：アカネズミ他 2科2種

鳥類：18科23種

昆虫類：48科96種

特記事項

岡本及び観音山の平地部分はほとんど開発されてしまい、丘陵部分に島状にある緑地です。龍宝寺などの周辺緑地と一体として捉え、保全していくことが重要です。

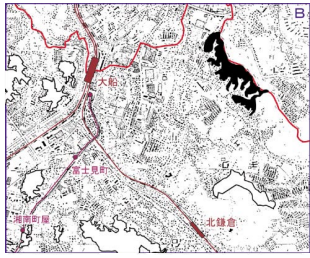


オニシバリ-コナラ群集(イヌシデ-コナラ林)

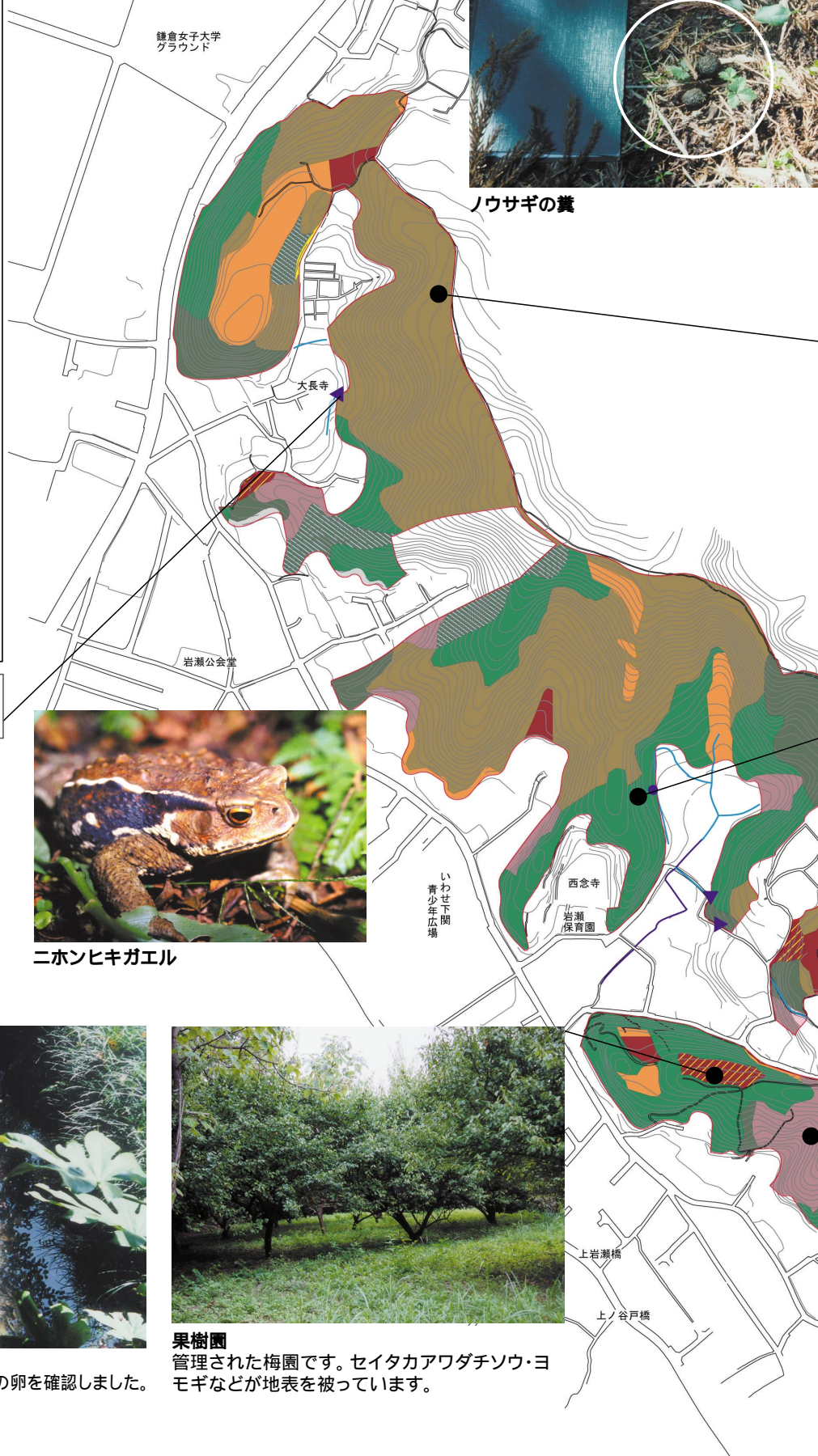
林の高さが20mにもなったイヌシデ林です。やや湿った斜面にあって、林内にはタブノキ、アスカイノデなどタブノキ林の構成種が生育しており、イヌシデ林としてはめずらしい林です。

岩瀬

- A 常緑広葉樹自然林
 - E 常緑・落葉広葉樹混生二次林
 - G 落葉広葉樹二次林
 - I 林縁生低木-ツル植物
 - J1 乾性草地
 - J2 畑耕作地
 - L1 竹林
 - L2 針葉樹植林
 - L3 果樹園
 - L4 緑化地
 - M 人工地
-
- 池
 - 水路
 - 水路（一部コンクリート護岸）
 - 井戸
 - 湧水



岩瀬



ノウサギの糞



ニホンヒキガエル



ニホンヒキガエル卵
約4m×4mの人工池で、ニホンヒキガエルの卵を確認しました。



果樹園
管理された梅園です。セイタカアワダチソウ・ヨモギなどが地表を被っています。



スギ・ヒノキ植林

手入れが行き届き、林床は明るく、ヤブミョウガやクサイチゴが群生しています。シダ植物の種類も豊富です(12科33種)。



ショウリョウバツタモドキ



ハクセキレイ



オニシバリ-コナラ群集

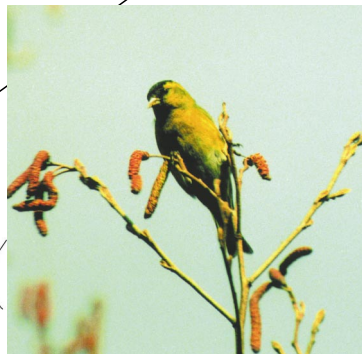
林床にアズマネザサの繁茂したコナラ林です。数年前まで下草刈りが行われ、ヤマユリ、コウヤボウキなどの花が見られます。



ツグミ



タヌキのため糞



マヒワ



アライグマ(外来種)

岩瀬

調査確認種数

植物：94科270種

動物

哺乳類：モグラ、ノウサギ、タヌキ他 5科5種

鳥類：17科26種

爬虫類：3科4種

両生類：ニホンヒキガエル 1科1種

昆虫類：85科226種

底生動物：9科10種

特記事項

岩瀬は関東ローム層が堆積し、耕作に適しています。スギ・ヒノキ植林、竹林、アカマツ植林、クヌギ植林、オニシバリ-コナラ群集などが生育し、一部で畑が行われています。樹林は今でも管理がなされています。

また、東側(横浜市側)および南側に緑地が続いているので、比較的多くの哺乳類が確認されました。

調査結果:

モグラ、ノウサギ、タヌキ(在来種)

台湾リス、アライグマ(外来種)

市民からの情報:ニホンザル(在来種)

岩瀬の周辺は、湧水が豊富で多数の井戸があります。